

野口勝宏さん（東南真行 出身）が最高賞を受賞 日本人初

「ニコンフォトコンテスト 2014 - 2015」で約9万点の頂点に



グランプリを受賞した組み写真「福島の花」

▶中国の上海で行われた授賞式に出席した野口さん（右から2人目。7月14日）



カメラメーカーのニコンが主催する世界最大規模の国際写真コンテスト「ニコンフォトコンテスト 2014-2015」の写真部門で本町出身の写真家、野口勝宏さんが最高賞のグランプリに輝きました。

同コンテストは、1969年から続いており、今回で35回目。同賞の受賞は、日本人初の快挙です。

受賞した作品は、2011年の東日本大震災直後から撮影を続けている「福島の花」。今回は写真と動画部門に世界164の国と地域から、8万8737点がエントリーしました。

野口さんは「素晴らしい作品が山ほどある中で審査員の方に目に止めていただき、大変感謝しています。写真を撮り始めた中学生の

時から『どんな人がグランプリになるのだろう』と思っていた。今回、自分がその立場になり、一途に写真に取り組んできた結果もらえたのだと実感しています」と受賞の心境を語ります。

「福島の花」は、野口さん独自の手法で、花の部分がきれいに切り抜かれます。「背景をなくすことで、花と見る人の思いがリンクする。花が自分のものになるんです」と野口さん。

「花を見ると、人の心は安らぐもの。今後必要とされる場所に花を届けていきたい。写真で人の心を動かしたい。それが写真家として自分が生きる意味であり、生きてきた証でもあります」。

野口さんはこれからも、福島の花を撮り続けます。



【Profile】のぐち・かつひろ

1959年生まれ、東南真行出身。写真家。東日本大震災を契機に「福島の花の美しさで世界の人々を笑顔にしたい」と「福島の花」シリーズを制作。ふくしまDCではJR東日本のメインイメージに採用され、ポスターや駅構内・ラッピング車両を花で彩る。同シリーズの作品は、ホームページ（<http://noguchi.jp.com>）、Facebook「野口勝宏」「福島の花」で公開中



野口さん（右）に教わりながらジャガイモの花の写真を撮る児童

Pick Up

今月のイベント

世界の「ノグチ」から撮影のコツを教わる

猪苗代青年会議所によるイベント「野菜の花ってどんな花？」は7月20日、町内の夷田地区で開かれ、町内の児童らが写真撮影などを通して野菜の花について学びました。

児童たちは、同地区で農業を営む深谷知広さんの畑でジャガイモ、カボチャ、トウモロコシなどの花の写真を撮影。写真家の野口勝宏さん（東南真行出身）に撮影のコツを教わりながら、夢中になってカメラのシャッターを切っていました。

その後、児童は夷田地区の集会所へと移動し、「野菜の花ブック」を作成。自分で撮った写真や野口さんが撮った花の写真のシールを紙に貼り、深谷さんに野菜のことをたずねながら、世界に一つしかない、オリジナルの図鑑を作りました。

子どもたちは、自分の撮った写真を「うまく撮れたね」「いい写真だね」と野口さんにほめられると、うれしそうに笑顔を浮かべていました。

妹と一緒に参加した鈴木日奈子さん（吾妻小3年）は「いろいろな野菜の花を知ることができたし、教えてもらったら上手に撮れるようになって、撮影するのが楽しくなった。もっといろいろなものを撮ってみたいです」と笑顔で話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Jun.2015
8
No.658

今月の表紙



磐梯まつりで稚児行列の出発を待つ田多羅紗希ちゃん（半坂＝5歳）。ことし2度目の参加で、抽選に当たった時からこの日を心待ちにしていました。化粧もお着替えもバッチリ。いよいよ出発です。

【撮影日】 7月25日

【撮影場所】 町役場駐車場

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 野口勝宏さんがニコンフォトコンテスト最高賞
- 04 写真特集 第67回磐梯まつり
- 06 まちのわだい
- 09 笑顔でこんにちは／八千代地区高齢者サロンで救急車適正利用講習会
- 10 国保のおはなし その2
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー